

# 資料 1

## 第 4 回検討会での指摘事項等について

---

## 1. 自動車ユーザーに対するアンケート調査結果の報告等に関する主なご意見

- 今後、新たな地域名表示のナンバーが導入されナンバープレートの種類が増えると標板メーカーのコストが増加し、最終的には交付手数料につながるため、ほとんどのユーザーがモノトーン版を廃止しても困らないと回答していることからモノトーン版を廃止し、ユーザーの負担軽減につなげることが重要ではないか。
- 標板メーカーに影響がなければ新たな全国版の図柄を白や黒等を基調にしたものとする、又は、モノトーン版を廃止するのでよいのではないか。
- 「派手すぎるから」フルカラー版をつけたくないと回答したモノトーンユーザーの意見を踏まえて新たな全国版の図柄を白や黒等を基調にしたものとして、又は、モノトーン版を廃止することを検討してはどうか。
- 登録車、軽自動車のモノトーン版とフルカラー版の台数と今回のアンケートの結果を用いて、今後の取り扱いを変更することで図柄入りナンバープレートの車がどのように増減するのか、寄付金額をシミュレーションしてはどうか。寄付金を増やしていくことが目的であることから寄付金をモノトーン版にも導入してはどうか。なお、モノトーン版を廃止する場合は、制度全体を考慮した上でユーザーに対して十分な説明が必要。
- 現在寄付を必要としていないモノトーンユーザーが、モノトーン版を廃止した場合にフルカラー版を選択する結果が得られたので、モノトーン版を廃止した場合に寄付金額は増加することになる。
- フルカラー版のみとした方が色の濃淡を気にする必要がないためデザインの提案がしやすい。新たな全国版の図柄を白や黒等を基調にしたものとするればモノトーン版を廃止してもよいのではないか。
- 全国版のモノトーン版を残すこともあり得るのではないか。

## 2. 地方版図柄入りナンバープレートに係る要望に関する主なご意見

- これまで自治体から台数要件緩和の要望がなされているところ、国において行政の混乱や供給サイドが対応できなくなる状態とならないように緩和を行ってきており、緩和の方向性については一定の理解はできるが、今後、どこまで要件を緩和できるかについては慎重に議論をしてもらいたい。
- モノトーン版を廃止するとナンバープレートの製造・管理コストがある程度削減されと考えられるため、台数要件緩和を行う場合の供給サイドの対応については、モノトーン版廃止とともに検討することで柔軟な対応が見込まれるのではないか。
- 台数要件緩和に加えて地域名表示を選択できるようにした場合、ますます行政の混乱や供給サイドの手間とコストが増加し、最終的には交付手数料につながることとなる。選択制についてはそもそもナンバープレートの問題ではなく、国が自動車登録制度として認めていくかを判断する必要があるのではないかと。
- 台数要件を緩和する場合に供給サイドにある程度の負担があるのであれば、自治体側にも一定の負担を求めることについて同時に考えることも必要ではないか。
- 政府は地方創生を推進しており、まさに地方創生の観点で、地方版の図柄入りナンバープレートの導入促進を進めていく必要があるのではないかと。